

研究代表者氏名	林 紀夫		研究組織	4 人		
所属機関・部局・職	大阪大学・医学系研究科・教授		所属機関所在地	大阪府 吹田市		
研究課題名	C 型肝炎に対する樹状細胞の機能制御による細胞免疫療法の開発					
研究の概要等	<p>C 型慢性肝炎では C 型肝炎ウイルスに対する T 細胞応答が十分に起こらないことが知られており、このことがウイルスの持続感染や IFN 治療に対する抵抗性の少なくとも一部に関与している。我々は C 型慢性肝炎ではその基盤的免疫異常のひとつとして種々の樹状細胞機能が低下していることを明らかにしてきた。樹状細胞は naïve T 細胞を活性化し得る生体内で最も強力な抗原提示細胞であるとともに、先天免疫に関与する免疫細胞の活性化やその後の獲得免疫応答の量と質を決定する上で重要な免疫調節作用を有することが近年注目されている。本研究課題では、C 型肝炎にみられる樹状細胞機能の低下の原因を明らかにし、樹状細胞機能の低下により引き起こされる免疫異常の詳細について解析することを計画している。さらに、樹状細胞機能を遺伝子導入や薬剤投与により制御する方法を開発し、これにより C 型肝炎でみられる免疫応答不全の回復を図ることにより、ウイルス排除を目指した新規の免疫治療法の開発につなげていくことを予定している。</p>					
当該研究課題と関連の深い論文・著書（研究代表者のみ）	<p>Jinushi M, Takehara T, Kanto T, Tatsumi T, Groh V, Spies T, Miyagi T, Suzuki T, Sasaki Y, Hayashi N. Critical role of MHC class I-related chain A and B expression on interferon-γ-stimulated dendritic cells in NK cell activation: Impairment in chronic hepatitis C virus infection. <i>J Immunol</i> 170:1249-1256, 2003.</p> <p>Kanto T, Hayashi N, Takehara T, Tatsumi T, Kuzushita N, Ito A, Sasaki Y, Kasahara A, Hori M. Impaired allostimulatory capacity of peripheral blood dendritic cells recovered from hepatitis C virus-infected individuals. <i>J Immunol</i> 162:5584-5591, 1999.</p>					
研究期間	平成 15 年度～19 年度（5 年間）					
研究経費 （16 年度以降は内約額）	平成 15 年度 千円 22,800	平成 16 年度 千円 18,900	平成 17 年度 千円 18,000	平成 18 年度 千円 13,500	平成 19 年度 千円 13,500	合計 千円 86,700
ホームページアドレス	http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/moltx/index.html					